

二三四〇番

一目見し 人に恋ふらく 天霧らし 降り来る雪
の 消ぬべく思ほゆ

二三四一番

思ひ出づる 時はすべなみ 豊国の 木綿山雪の
消ぬべく思ほゆ

二三四二番

夢のごと 君を相見て 天霧らし 降り来る雪の
消ぬべく思ほゆ

二三四三番

我が背子が 言うつくしみ 出でて行けば 裳引
き著けむ 雪な降りそね